

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

2025年4月 第212号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



豊洲：千客万来の風景

2024年度第二回理事会・評議員会開催	2
報告事項	5
各地域組合報告	7
委員会報告	9
お知らせ 第82回全溶連大会 2025 東海	10
単位組合紹介 (東京都高圧ガス溶材協同組合)	11

賛助会員の広場 (デンヨー(株) / 日本液炭(株) / 神鋼商事(株) / 函館酸素(株))	12
お知らせ	
全溶連賠償責任保険制度・サイバー保険制度のご案内 / 第4回全溶連川柳 審査結果報告	15

2024年度第二回理事会・評議員会開催

2024年度第二回理事会・評議員会が2024年2月7日（金）新大阪ワシントンホテルプラザにおいて開催されました。当日審議された議案は6月開催の総会に上程の予定です。



定刻、事務局より評議員会運営規程第9条に定める過半数以上の出席により、本会議は成立している旨を報告し、次いで石川副会長より開会挨拶がなされた。

石川副会長は、「昨年の災害や経済状況について言及し、今年の活動への期待を表明しました。具体的には、昨年1月1日に発生した地震や飛行機事故などの災害が多かったことを振り返り、今年は穏やかな年になることを願っていると述べました。また、愛知県での鳥インフルエンザの流行についても触れ、卵の価格が高騰していることを指摘しました。さらに、6月に名古屋で開催される全溶連大会の準備が進んでいることを報告し、多くの参加を呼びかけました。最後に、雪の影響や各組合の状況報告があるため、スムーズな議事進行と積極的な意見交換を期待している」と述べ、挨拶を締めくくりました。

引き続き、深尾会長が議長となり議事に入った。

第1号 議案

2024年度事業報告(案) 承認の件

関口事務局長より議案書に基づき以下の内容を報告した。

全溶連の環境

- ・ロシア・ウクライナ問題や中東紛争の影響で、エネルギー価格や原材料の高騰、急激な円安が続いている。
- ・国内では物価上昇や人手不足が深刻化し、高圧

ガス業界も厳しい環境にある。

事業活動の状況

- ・第81回全溶連総会を開催し、その後の懇親会にて来賓、賛助会員、評議員等参加者の親睦を図った。
- ・高圧ガス保安確保を最重要課題として取り組み、新たにKHKが加わり保安対策連絡会議を開催。
- ・消費者の保安意識を強化し、高圧ガス設備の日常点検を行うよう啓発活動を行っている。
- ・高圧ガス容器の全国一斉特別回収を実施し、事故発生防止と保安の確保を目指している。
- ・高圧ガス消費者保安講習を通常開催し、保安活動の一環として教材の改訂や動画公開を行った。

法改正の取り組み

- ・車両に積載する高圧ガス容器の積載方法の例示基準改正。
- ・労働安全衛生法による化学物質管理者の選任義務化。

全溶連福祉共済団体保険について

- ・概要：昭和59年に開始された共済制度で、割安な掛け金で大きな保障を提供。
- ・現状：加入人数と口数は減少傾向。キャンペーンを実施中。
- ・加入促進：ポイント加点基準の見直しやキャンペーンを実施。新規契約の促進が必要。

全溶連賠償責任保険について

- ・概要：業務上の事故やトラブルに備える保険制度。
- ・現状：2024年度は483社が加入、保険料は増加。
- ・課題：手数料の見直しで収入減少、新サービス

導入を検討中。

高圧ガス溶材企業年金基金について

- ・概要：会員企業の従業員の退職後の生活を支援する年金制度。
- ・現状：344社が加入、加入者9,848名、年金資産約110億円。
- ・財政状況：積立水準に問題なく、運営は順調。
- ・課題：高齢化社会への対応と安定的な運営が求

められる。

その他

- ・鳥インフルエンザで935万羽が殺処分され、過去最多を上回り、炭酸ガスの安定供給が求められている。
 - ・第82回全溶連大会を6月12日に名古屋にて開催予定で、多数の参加を呼びかけている。
- 以上2024年度事業報告（案）が承認された。

第2号 議案

2024年度 決算見込（案）承認の件

2024年度 収支決算書（見込案）要旨 （収入の部）

単位：千円

科目	予算	決算（見込）	備考
1 基本収入	25,460	24,780	- 680 正会員 - 31社 賛助会員 + 8社
2 事業収入	15,222	14,910	- 312
（保安事業関係）	9,720	9,420	(- 300) テキスト頒布数は微増、その他文書頒布数減少
（共済事業関係）	5,502	5,490	(- 12) 団体生命保険加入人口数微減による減少
3 総会収入	1,200	920	- 280 懇親会参加者予算120名に対し92名参加
4 事業外収入	1,750	1,800	+ 50 広告掲載料 受取利息他
5 前年度繰越金	16,833	16,833	± 0
総合計	60,465	59,243	- 1,222

（支出の部）

単位：千円

科目	予算	決算（見込）	備考
1 事業費	11,406	10,044	- 1,362
（保安事業関係）	5,026	4,604	(- 422) 販売に応じた原価
（共済事業費）	780	740	(- 40) 集金代行業者への団体保険事務受託費
（その他事業費）	5,600	4,700	(- 900) 販売に応じた原価
2 会議費	4,400	4,113	- 287 理事会・評議員会・保安対策連絡会議
3 管理費	26,579	26,993	+ 414
（人件費）	17,560	18,340	(+ 780) 職員引継による重複給与他
（諸経費）	9,019	8,653	(- 366) 郵便関係電子化による費用減少他
4 総会・大会準備金	1,000	1,000	± 0 2025年開催名古屋大会準備金
5 営業外費用	150	200	+ 50 周知文書減耗処理
6 次年度繰越金	16,930	16,893	見込利益 60千円（予算利益 97千円） - 37
総合計	60,465	59,243	- 1,222

次年度繰越金は16,893千円となることから全額次年度繰越金とすることが提案され承認された。

第3号 議案

2025年度事業計画（案） 承認の件

関口事務局長より議案書に基づき以下の内容について、13項目の事業計画案を提案した。

事業計画の概要

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
2. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
3. 主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
4. 自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進
5. 関連業界及び団体との共同事業の推進
6. 高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施

- 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9.福祉共済制度・団体定期保険（キャンペーン）
及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに
賠償責任保険制度の普及
- 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布

- 11.第82回全溶連大会（東海）の開催および第83
回全溶連総会（東京）の準備
- 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
- 13.SDGsの活動の展開について
以上2025年度事業計画（案）は拍手をもって
承認された。

第4号
議案

2025年 収支予算(案)
承認の件

柳川財務委員長より2025年度収支予算（案）に
ついて提案した。

2025年度予算(案) 要旨

(収入の部)

単位:千円

科 目	2024年度見込	2025年度予算	備 考
1 基本収入	24,780	24,828	+ 48 正会員1,299社 賛助会員46社
2 事業収入	14,910	16,520	+ 1,610
（保安事業関係）	9,420	9,420	(±0) 前年度の販売価格を継続し販売数量も同数推移を見込
（共済事業関係）	5,490	7,100	(+ 1,610) 制度運営費一口10円増、賠償責任保険事務費新規増
3 全溶連総会収入	920	0	- 920 大会開催時は計上なし
4 事業外収入	1,800	1,800	±0 広告掲載料、受取利息他
5 前年度繰越金	16,833	16,893	+ 60
総合計	59,243	60,041	+ 798

(支出の部)

単位:千円

科 目	2024年度見込	2025年度予算	備 考
1 事業費	10,044	10,544	+ 500
（保安事業関係）	4,604	4,604	(±0) 販売に応じた原価
（共済事業費）	740	740	(±0) 集金代行業者への団体保険事務受託費
（その他事業費）	4,700	5,200	(+ 500) 会報関係費資材、配送、制作コスト上昇分を加味
2 会議費	4,113	3,500	- 613 総会時の懇親会費は大会費に参入
3 管理費	26,993	27,158	+ 165
（人件費）	18,340	18,200	(- 140) 職員3名体制
（諸経費）	8,653	8,958	(+ 305) PC3台入替分加算
4 総会・大会準備金	1,000	1,600	+ 600 次回開催大会準備金
5 営業外費用	200	200	±0 棚卸減耗費
6 次年度繰越金	16,893	17,039	2025年度予算利益 146千円(2024年度見込利益 60千円)
総合計	59,243	60,041	+ 798

以上2025年度予算（案）は承認された。

第5号
議案

第82回全溶連大会における全溶連
会長表彰(業界功労者) 推薦枠の件

- ・ 200社以上の事業者は3名
- ・ 全体の推薦人数：23名を推薦予定
- 以上第5号議案は拍手をもって承認された。

表彰候補者の推薦枠

- ・ 推薦枠の決定：15の地区に応じた組合数に基づき、候補者の人数を決定。
- ・ 推薦基準：事業者数
 - ・ 1社から80社までは1名
 - ・ 81社から200社までは2名

第6号
議案

代議員・評議員改選に伴う
推薦枠並びに役員構成について

代議員の推薦枠

- ・ 任期：代議員の任期は定款第15条および第30

条において2年とされている。

- ・推薦枠:代議員の選出規定より、代議員数は200名以内と規定され単位組合の正会員に比例して代議員を選出する。
- ・2025年度の推薦枠:現状の146名から1名増加し、147名となる。

評議員の選出

- ・選出基準:定款に基づき、評議員は50名以内と規定されている。
 - ・推薦方法:代議員の中から会員組合の組合長および全溶連会長が推薦する。
 - ・2025年度の評議員数:48名とする。
- 以上第6号議案は拍手をもって承認された。

第7号議案

第82回全溶連大会宣言文承認、並びに大会準備状況の件および第83回全溶連総会に関する件

関口事務局長より標記に関する事項について提案した。

第82回全溶連大会宣言文について

東海組合より24名の作品応募があり以下のスローガンに決定した。東海大会にて宣言文を披露し、同宣言文は2年間使用することになる。

- ・全溶連:「信頼を重ね 未来へ繋ぐ 全溶連」
(小泉公様:十合刈谷酸素㈱)
- ・保安:「自主保安 皆んなの力で 安全確保」
(兵頭修巳様:十合刈谷酸素㈱)

第82回全溶連大会準備状況

- ・開催日:2025年6月12日(木) および13日(金)
- ・開催場所:名古屋マリオットアソシアホテル
- ・オプションコース
 - ・日帰り観光「名城巡りとの創りの歴史探訪」
 - ・ゴルフコンペ 10組40名予定
(東建多度カントリークラブ)
- ・参加者:250名から300名程度を予定

第83回通常総会について

- ・開催地:東京
- ・開催日:2026年6月5日(金)を予定
- ・懇親会参加費:物価上昇により1万5千円/人以上第7号議案は拍手をもって承認された。

報告事項

各委員会報告

総務委員会(関口事務局長より報告)

総務委員会の活動は第3号、5号、6号、7号議案の通りである。

財務委員会(柳川委員長)

財務委員会の活動は第2号、第4号議案の通りである。

組織委員会(竹腰委員長)

活動状況

- ・組織の整備と拡充:組織委員会は、組織の整備拡充と会員数増加を基本に活動している。しかし、会員企業の統合合併や廃業により、2024年度の会員数は減少傾向にある。
- ・会員数の減少:2023年10月の会員数は1,330社であったが、2024年10月には1299社と1年間で31社の減少となり、減少傾向に歯止めがかかっていない。
- ・賛助会員の加入増強:正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強にも注力している。ガスメーカー8社に対して賛助

会員加入依頼を行い、6社が新規加入となった。

- ・加入メリットのアピール:今後は全溶連の加入メリットをアピールし、加入の働きかけを強化していく予定である。

経済委員会報告(佐藤委員長)

活動報告

- ・基本契約促進の取り組み強化:反社会的取引対応の条項を取り入れた基本契約の改定を進めている。電子契約の導入についても検討を進めており、導入のメリットを確認している。
- ・高圧ガスに関する現状調査:地方容器管理委員会ごとに調査を行い、各地のやり方について意見聴取を進めている。
- ・教育支援の提供:高圧ガスの販売事務マニュアルを改正し、販売事業所としてやるべきことを明確にするための資料を作成している。
- ・市場調査に関する情報の共有化:労務費の上昇に関わる価格交渉に関する指針の公表など、情報を共有し具体的な対策を進めている。
- ・YouTubeを利用した解説動画の提供:保安講習に活用できる解説によるショート動画を提

供し、業界活動紹介の周知を進めている。

- ・SDGs 認証手段の模索：ISO 審査機関に協力を依頼し、SDGs 認証手段の模索を続けている。
- ・鳥インフルエンザの協定状況の調査：業界団体の指導、メーカー指導などによる対応を検討し、理想的な業界指導の雛形を作成している。
- ・賠償責任保険の加入促進：保険の内容を充実させ、加入促進を図っている。新たな手数料収入の配分比率を適用し、事務手数料の配分を決定した。

その他の活動

- ・新サービスの提案：サイバー保険についての議論を進め、システム復旧を重視したプランの提案を保険会社に依頼している。
- ・SDGs の取り組みと教育について：高圧ガス販売事業所の役割を見直す動画を制作し、普及推進に活用している。

保安委員会報告 (大岡委員長)

活動内容

- ・高圧ガス保安法および関連法規の周知徹底とその遵守：販売店従業者の高圧ガス保安レベルの底上げを目的に、提案募集やコンプライアンス調査を実施した。アンケート結果を分析し、今後の施策に取り入れていく。
- ・関係法規制に対する意見具申伝達指導：高圧ガス保安協会との関係を強化し、保安技術の向上や容器問題改善のための協力要請を行っている。
- ・高圧ガス保安法に基づく周知させる義務の高度化、活性化テスト：英語版周知文書をホームページで公開し、周知文書のリンクから保安動画が視聴できるようにPRを進めている。
- ・消費者講習会開催など、消費者に対する啓発、自主保安活動の指導推進：保安講習テキストの改正を行い、SDGs 活動や公開動画との連携を強化した。

その他の活動

- ・高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器等処理活動：恒例の特別回収運動を推進し、経済委員会と協力して容器指針の徹底や回収活動の企画化を進めている。
- ・高圧ガスの乱用、悪用および犯罪の抑止、自然災害対策のための活動：保安台帳の見直しやホームページでのPR内容を検討中であり、順次対応していく予定である。

厚生委員会報告 (中尾委員長)

活動内容

- ・福祉共済制度の拡充：厚生委員会は福祉共済制度を担当しており、団体定期保険、傷害補償、医療補償、長期収入補償の拡充を中心に活動している。
- ・ポイントゲットキャンペーン Part IV：2023年10月から2025年3月までの期間でポイントゲットキャンペーンPart IVを実施中。6月に開催する全溶連大会東海で上位5組を表彰予定。
- ・加入状況：2025年1月の募集結果では、団体定期保険の加入人数は4名増の3,305名、加入口数は81減の7,714口となった。傷害補償は加入人員で24名増、口数で42口減となり、医療補償は前年比で9名減の137名となった。
- ・GLTD 長期収入補償制度：新たに制度としてGLTD長期収入補償制度を設けて9年目を迎えるが、加入事業所はわずか2社で、新規契約には至っていない。

今後の取り組み

- ・加入促進：福祉共済制度の制度運営費は各組合の貴重な手数料収入となっているため、1月の定期募集以外でも随時加入を促進し、皆様のご支援ご協力をお願いしたい。

広報委員会報告 (関口事務局長)

活動内容

- ・会報誌の編集：年4回(4月、7月、10月、1月)発行される会報誌「全溶連」の編集活動を中心に行っている。
- ・新春特集：1月号の新春特集では、群馬県高圧ガス溶材協会の役員の方々が集まり、自然災害等についての座談会を実施し、その記事を掲載した。来年度は大阪高圧ガス溶材協同組合にお願いする予定。
- ・写真コンテスト：第15回の写真コンテストを開催し、19名から32作品の応募があり群馬組合の深澤さんの作品「咲き誇るふたつの春」が最優秀作品賞に選ばれ、1月号の表紙に掲載された。
- ・全溶連川柳の募集：第4回目の全溶連川柳を募集しており、皆様からの応募をお待ちしている。前回の優秀賞は「ほっとくと 怒り爆発 ガスと嫁」という作品であった。
- ・賛助会員の紹介：会報誌の中で、賛助会員を紹介する「賛助会員の広場」を掲載しているが賛

助会員が増えたことから、昨年10月号より1回の会報誌で4社掲載することとした。

- ・ 発送方法の見直し：会報誌の発送方法を見直し、1月号から新しい業者に依頼し、透明のフィルムでの発送に変更してコスト削減することができた。

今後の計画

- ・ 会報誌の改善：会報誌の内容をより充実させるため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしている。
- ・ 広報活動の強化：広報活動を通じて、全浴連の活動をより多くの方に知っていただくための取り組みを進めて行く。

各地域組合報告

各組合からの地域活動報告は、紙面の関係で要点のみ掲載させていただきます。

岩手（北崎評議員）

地場産業の厳しさ：地場産業が厳しい状況で、特に鉄骨関連で仕事が少ない。

自動車関連の動向：製造台数増加が見込まれるが、人手不足が深刻。

鳥インフルエンザの影響：1月に5ヶ所で発生し、約120万羽が殺処分された。

茨城（柳川評議員）

高圧ガス容器の管理：高圧ガス容器の特別回収運動を実施し、講習会を開催。

経済状況：県民所得が全国第3位、企業立地件数が全国第1位。

鳥インフルエンザの影響：年末年始に180万羽以上が殺処分され、炭酸ガス供給に追われた。

宮城（伊藤評議員）

自動車産業の回復：トヨタ自動車の工場が通常生産に戻りつつある。

半導体メーカーの撤退：台湾の半導体メーカーPSMCの進出が白紙撤回され、鉄骨関係者に影響。

製紙業界の厳しさ：ペーパーレス化の影響で製紙会社が厳しい状況。

造船業の好調：青森の造船業が2年先までの仕事を確保し、気仙沼の漁船専門の造船も3年先までの仕事を持つ。

埼玉（小宮評議員）

道路陥没事故の影響：八潮市での道路陥没事故により、排水制限が続いており、産業界に影響が出始めている。

鳥インフルエンザの発生：11月に行田市と毛呂山町で鳥インフルエンザが発生し、合計で約4万7500羽が殺処分された。

放置容器の回収：建築工事の減少により、放置容

器の回収依頼が減少傾向にある。

東京（田邊評議員）

再開発の影響：東京の再開発が進行中だが、中小零細工場にはあまり利益がない。

組合活動：高圧ガス消費者保安講習会を開催し、250人が参加。

組合員の減少：組合員数が減少しており、対応が必要。

神奈川（齋藤評議員）

保安法の事務権限委譲：横浜市と川崎市で高圧ガス製造許可等の事務権限が市に委譲され、県の体制が変化。

鳥インフルエンザの状況：現在、県内での発生はなし。

消費者保安講習会：544名が受講し、規制対応が進んでいる。

静岡（中西評議員）

容器交換会の結果：静岡では容器交換会を2回実施し、いずれも0本の結果。

保安講習会の開催：10月に特定化学物質管理者講習を実施し、約100名が参加。

防災訓練の実施：10月に高圧ガス危険物防災訓練を実施し、95名が参加。

鳥インフルエンザの対応：近隣の愛知県で発生し、静岡から炭酸ガスを供給。

山梨（河内評議員）

経済状況：半導体関連が回復傾向にあるが、製造商品によって好調不調の波がある。

建設業界の動向：鉄骨業者の受注残が減少し、影響が出ている。

グリーン水素の普及：県と民間企業が共同でグリーン水素の製造販売を進めており、引き合いが増加中。

保安関係：今年度は6件の軽微な事故が発生し、保安講習会を開催。

長野 (宮原評議員)

経済状況：鉄骨や半導体関連で厳しい状況が続いている。

ホームページ開設：高圧ガスの安全情報提供を目的に開設。

保安講習会：酸素、アセチレン事故防止講習会を開催予定。

鳥インフルエンザの対応：発生はないが、周辺地域での発生に備え準備中。

東海 (田崎評議員)

経済状況：大企業の賃上げがあったが、エネルギーコスト上昇や人手不足で消費意欲は低迷。

自動車輸出の好調：円安が追い風となり、輸出関連企業が景気を下支え。

保安講習会：年内に6回の講習会を開催し、496名が参加。

鳥インフルエンザの影響：愛知県で13件の発症があり、炭酸ガス容器を延べ1,000本以上緊急納入。

北陸 (東狐評議員)

地震の影響：2024年1月1日の大地震で大きな被害が発生し、関連死が多かった。

温泉業界の変化：加賀屋が建物を廃止し、新たな施設を2026年に開業予定。

北陸新幹線の状況：金沢から敦賀までの開通で過渡期にあり、京都での反対運動が進行中。

経済状況：中国経済の低迷が影響し、製造業が厳しい状況。医薬品業界は安定。

滋賀 (高橋評議員)

経済状況：万博の影響でビジネスホテルの価格が高騰し、地元民に影響。

鉄鋼業界の状況：資材の高騰で見積りが難しく、仕事が減少。

自動車産業の影響：認証問題で生産が回復していない。

京都 (本川評議員)

観光客の影響：外国人観光客が増加しているが、業界としての恩恵は少ない。

経済状況：工業生産は安定しており、観光業の活性化が課題。

鳥インフルエンザの対応：影響は少ないが、府と連携して準備中。

大阪 (宮川評議員)

経済状況：大手企業は好業績だが、中小零細製造業は厳しい状況が続いている。

建設業界の動向：万博関連の建設は続くが、利益は少ない。IR関連の建設が始まるまで厳しい状況。

組合活動：保安講習会の参加者増加に取り組み、ウェブサイトを更新。万博期間中のガス供給体制を強化。

和歌山 (垣内評議員)

経済状況：個人消費は横ばい、観光業は外国人観光客の増加で堅調。

生産活動：機械工業は低下、観光業は上昇。

企業収益：全産業で減益見込み。

ガソリン価格：和歌山県は全国で最も安い。

日本製鉄の影響：トランプ政権の影響で不透明。

鳥インフルエンザ：現在発生なし、炭酸ガス供給はメーカー対応。

兵庫 (大岡評議員)

経済状況：緩やかに持ち直しており、個人消費や設備投資が回復傾向。

水素事業の進展：神戸市での液化水素輸送の実証実験が成功し、水素エネルギーの活用が進む。

万博の影響：万博に伴う需要が高まり、製造業の成長のチャンス。

広島 (上野評議員)

製造業の状況：造船は新規受注が減少する見込みだが、受注在庫があり、今年度と同程度の仕事量がある。

自動車産業の動向：マツダは今年度と同等の生産台数を予定している。

建築業界の動向：広島駅の改装が完了し、大型物件が一段落。ホテルの建設が続く見込み。

電池工場の建設：岩国にパナソニックとマツダが電池工場を建設予定。

山口 (金子評議員)

経済状況：山口県の経済は回復しつつあるが、原材料高騰と人手不足が課題。

観光業の動向：インバウンド観光客が増加し、観光業が活性化。

自動車関連の動向：自動車関連産業は前向きな動きが見られる。

九州 (吉住評議員)

高圧ガス容器管理：停滞容器を減らす取り組みを進め、工業用容器の使用料値上げを呼びかけ。

医療用ガスの使用料：鹿児島県で4月から医療機関に使用料を実施予定。

保安講習会：5月に鹿児島県と福岡県で開催予定。

TSMCの影響：熊本県で第1工場が完成し、第2工場が進行中。水の使用量が多く、水対策が必要。

経済状況：厳しい状況が続き、原材料高騰と人手不足が課題。

委員会報告

2025年1月～3月

財務委員会

日時 2025年1月24日(金)14:00～16:00

場所 エッサム神田1号館 802号

出席者 河西副会長、柳川委員長他6名(オンライン参加3名含む)事務局 2名

議題

- (1)2024年度算見込(案)について
2024年度利益見込額 利益：60千円
- (2)利益処分(案)について
当年度未処分利益：16,893千円を次年度繰越金とする。
- (3)全溶連財務状況について
会員収入の減少：2019年度からの会費収入の減少傾向が続いており、年々減少している。
会員数の減少：平成7年度をピークに、企業数が減少し、会員数に影響。会費の見直しが必要なタイミングにきている。
保安事業収入：コロナ禍の影響で一時減少したが、現在は回復傾向にあり、2024年度は前年より増加。
保険事業収入の減少：特に団体定期保険の加入口数が減っており、2024年度の収入は前年より減少。
管理費の安定：管理費は大きく変動せず、維持されている。
大会準備金の活用：2023年九州大会と2024年名古屋大会の準備金として、過去の不開催時期を経て、予算を積む形で展開。
- (4)2025年度収支予算(案)について
2025年度収支予算(案) 利益：146千円



以上の議題を審議し、2月の理事会・評議員会に諮ることが承認された。

総務委員会

議題内容については第二回理事会・理事会評議員会の議案各号に掲載の為省略

日時 2025年2月6日(木)13:00～14:30

場所 新大阪ワシントンホテルプラザ 2階
蘭・牡丹・菊の間

出席者 深尾会長、鈴木副会長、
東狐委員長他9名 事務局2名

議題

- (1)第82回全溶連大会・東海(名古屋)準備状況に関する件
第83回全溶連総会(東京)に関する件
- (2)第82回大会宣言文(案)に関する件
- (3)2025年度事業計画(案)に関する件
- (4)第82回全溶連大会における全溶連会長表彰(業界功労者)
- (5)代議員、評議員改選に伴う推薦枠の件

以上の議題を審議し、第二回理事会・評議員会に諮ることが承認された。



経済・保安合同委員会

日時 2025年3月7日(金)14:00～16:30

場所 エッサム神田ホール 701号室

出席者 石川副会長、佐藤委員長、大岡委員長、
吉住副委員長、宮川副委員長
柳田副委員長他21名(オンライン9名含む) 事務局2名

三井住友海上火災保険 担当者 1名

議 題

●サイバー保険制度の導入

三井住友海上火災保険から中小企業向けサイバー保険の詳細説明が行われ、特にサイバー攻撃のリスクが増加していることが強調された。

保険は売上高を基にした保険料計算、災害時の支援、そして高圧ガスに関連したリスクカバーを含む特別プランが提案された。

●高圧ガスのリスクアセスメント義務化

法的義務付けに基づくリスクアセスメントの重要性が議論され、消費者への効率的な情報提供方法について意見が交わされた。講習会などでの情報提供が求められている。

●業界自主規制の推進

違法な高圧ガス容器の充填依頼を防止するため、業界としてのポスター作成と周知活動が決定され、自主規制の強化が進められている。

本人確認のプロセスを見直し、免許証のコピーを利用した安全対策が検討された。

●災害対応策の強化

宮城県のモデルを参考にし、鳥インフルエンザや自然災害時における迅速な対応が強調され、業界全体での協力体制の必要性が述べられ



た。

●基本契約書の見直し

反社会勢力排除条項、秘密保持条項などの追加が議論され、法的安全性を高めるための契約書改訂が進められている。

●SDGs活動の推進と改善

SDGs活動に関するパンフレットの内容が見直しされ、自前での認証実施に基づく新しい方針が提示された。

これらの議題を通じて、経済・保安合同委員会では、ガス業界の安全性向上と法的遵守、消費者保護の強化が図られ、業界として一体的な対応を目指している。各テーマに対する具体的なアクションは、さらなる会議や報告を通じて具体化される予定。

第82回全溶連大会 2025東海

第82回全溶連大会が開催されます。多数のご来場をお待ちしております。

日 時：2025年6月12日(木)～6月13日(金)

場 所：名古屋マリOTTアソシアホテル(16階タワーズボールルーム)

〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4 TEL 052-584-1111

1日目：総会及び大会及び懇親会

2日目：①観光コース(オプション観光) 名城巡り&もの創りの歴史探訪(観光バス利用、先着20名)

②ゴルフコース(オプションゴルフ) 東建多度カントリークラブ(先着40名)

医療ガス利用の安全・安心を追求

2025

メディカルガス4 情報メディア

A4判 86ページ
定価2,200円(本体2,000円+税10%)

命を守るガスの力：医療分野におけるガスの役割と防災



●購入のお申し込みは…

産報出版株式会社

TEL：03-3258-6411

FAX：03-3258-6430

単位組合紹介

東京都高圧ガス溶材協同組合

所在地 〒101-0036

東京都千代田区神田北乗物町12番地 大竹ビル

TEL:03-5296-0830 FAX:03-5296-0435

理事長 田邊 幸則

設立 昭和28年5月29日(1953.5.29)

令和5年5月(2023.5) 創立70周年を迎える

組織 理事長1名、副理事長3名含め理事31名、監事2名

(委員会)総務 経済 保安 厚生 広報 (支部)東部 西部 南部 北部

会員数 103社(令和7年3月31日) & 協賛会員35社



田邊幸則 会長

活動目的

本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づいて、自主的な経済活動の促進と経済的地位の向上を図ることを目的に、高圧ガスの保安を軸として日々活動しています。

活動内容

1. 消費者保安講習会の開催

東京都環境局・東京都高圧ガス保安協会との共催で、毎年10月に実施しています。

当組合の保安委員会委員の主導で、各支部組合員のお得意様を中心に参加者として募り、前年250名の方々に保安に取り組む姿勢を学んでいただきました。

コロナ以前は400名近くの参加者でしたが、なかなか元には戻っていません。講習は、都庁・警視庁・消防庁の関係部局の方に講師を依頼し、色々な角度から話を聞いていただけのように、また事前に質問事項を受講者から取得する等、工夫をしています。さらにアンケートからは後評を確認して次回に活かしています。

2. 容器管理委員会の開催

高圧ガス保安協会から委託を請け関東高圧ガス容器管理委員会・東京都支部容器管理委員会の2組織を運営しています。

この委員会の存在が、高圧ガス不明・放置容器による事故を少しでも減らす効果を生んでいるものと自負しています。委員会の総会は毎年

7月に実施しています。

当組合事務局は総会の運営(準備から開催)、年間スケジュールから予算・収支報告を各都道府県の協会へ実施日に周知しています。

3. 高圧ガス保安法・例示基準改定に鑑み組合員への周知を行う

関係法令の知識の吸収及び取引先への周知のため、各支部では、組合員に「ガスメーカー」を招いて法令の変更点、影響等、解説を含め講習会の実施をしています。

組合員に関わる法の知識取得だけでなく、技術的な知識の普及及び啓蒙にもいち早く対応する体制づくりに腐心しています。

直近の周知例として「車両に積載した容器による公道移動における法規制」の積載方法の例示基準(2024年4月改定分)を消費者保安講習会にてパンフ作製配布でいち早く対応いたしました。

以上



賛助会員の広場

壁を越える、原動力。

Denyo

背負式バッテリー溶接機 〈ウェルザック〉

WELZACK

BDW-120BP

ラクラク背負えて、しっかり溶接作業。
背負えるバッテリー溶接機！



製品動画



最大溶接電流 120 A	適用溶接棒 φ3.2 mm	超軽量 10 kg
------------------------	-------------------------	---------------------

リュック感覚で背負えるバッテリー溶接機?!



ガソリンエンジン溶接機

自動アイドリングストップ機能標準装備

IDLING STOP



溶接作業休止後エンジン停止



設定した時間で自動停止



溶接棒で、母材を2回トントンと叩くか電動工具のスイッチを2回ON-OFF



または
カチッ カチ



エンジン再始動し溶接作業再開！

製品動画



155Aクラス

GAW-155ES

最大溶接電流 155 A	適用溶接棒 φ3.2 mm	交流電源 (100V) 3.0 kVA
------------------------	-------------------------	-------------------------------



190Aクラス

GAW-190ES2

最大溶接電流 190 A	適用溶接棒 φ4.0 mm	交流電源 (100V) 3.5 kVA
------------------------	-------------------------	-------------------------------

デンヨー株式会社

本社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5
TEL:03(6861)1122 FAX:03(6861)1182



賛助会員の広場

Designs for Business

神鋼商事
SHINSHO CORPORATION

大陽日酸グループ

高圧ガスを通じて地域の発展に貢献します



函館酸素株式会社

本 社 / 〒040-0076 函館市浅野町1番3号
TEL0138-42-2411 FAX0138-42-4888

営 業 所 / 室蘭市祝津町1丁目7番15号 工 場 / 函館市浅野町1番3号
札幌市白石区米里三条2丁目8番20号 函館市鈴蘭丘町3番128

全溶連賠償責任保険制度 サイバー保険制度 2025年度募集のご案内

2025年度も「全溶連賠償責任保険制度」を募集します。

加えまして今年度より「全溶連サイバー保険制度」をご用意しております。

いずれか一方へのご加入も可能ですので、ご検討をよろしくお願いいたします。

募集スケジュール

パンフレット発送	5月中旬 (全国会員宛に募集書類を発送)
募集締切日	6月中旬
保険始期日	7月1日

サイバーリスクに備えるための セミナー開催予定のお知らせ

募集開始となる5月中旬にサイバーリスクに関するセミナーをzoomで開催します。

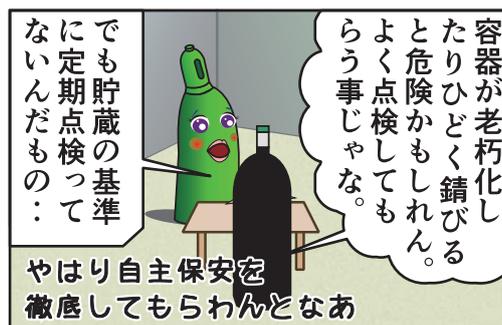
ぜひお気軽にお申込みください。詳細は別途ご案内させていただきます。

募集の詳細に関しましては、パンフレット及び全溶連HPをご確認ください。(5月中旬掲載予定)

ご不明点がございましたら全溶連(03-5296-0430)までお問い合わせください。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘(ふうか) 作画：ひこさん
第四十八話 「自主保安への期待」の巻



第4回 全溶連川柳 審査結果報告

優秀賞 「ネット、ガス 扱い方で 大炎上」

中村 陽(長野 宮原酸素株式会社 長野営業所)

佳作 「守ってね 私のボディを 暑さから」

清水 佳子(長野 宮原酸素株式会社 長野営業所)

「ガス有れど 12ヶ月で 返却を」

猫田 和成(九州 有限会社中津酸素)

「ローリーの ガス名見えて 車間とる」

山下 ちづ子(北陸 兵庫酸素株式会社 加賀事業所)

最優秀賞1名・佳作3名・参加賞18名 総勢22名41作品 ご参加ありがとうございました。



まだ誰も知らない
安心を、ともに。

事故のあとの補償。損害保険はそれだけではいけない。

そう考えるあいおいニッセイ同和損保は、いち早くテレマティクス技術を活用し
損害保険を「事故を起こさない保険」へと進化させました。

そして今、これまでの保険の枠を超えた新しい価値を提供するために、
国内外のあらゆる事業を通じ、社会・地域課題の解決にチャレンジしていきます。

そのためのキーワードは、ともに。

お客さまとともに、そして地域・社会のみならずともに、
日常や事業にひそむ様々なリスクを削減し、
万が一の場合には、被害の軽減と早期回復を支援していきます。

そこに、国内外のパートナーと協業し、最先端のデジタル技術や
ビッグデータを掛け合わせれば、新しい社会を創り出すことができるはず。

それは、リスクに臆することのない、安全・安心で快適な社会。
お客さまと地域と社会と私たちが思いをひとつにできれば、
夢なんかではない。私たちはそう信じています。

そんな思いを、シェアイノベーション CSV X DXと名付けました。

あいおいニッセイ同和損保は、CSV X DXを通じて、
お客さま・地域・社会の未来を支えつづけます。

公式HPはこちら



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 東京都渋谷区恵比寿1丁目28-1
https://www.aioinissaydowa.co.jp/

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

一般社団法人 全国高圧ガス溶剤組合連合会 会員企業のみなさまへ

長期収入サポート制度（全溶連GLTD制度）のご案内

— 団体長期障害所得補償保険 —



病気やケガで働けなくなった場合に長期で収入を補償する制度です。
全溶連としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。
御社の福利厚生拡大のため、制度導入をご検討ください。



医療保険には入っているけど…
治療が長引いて、なかなか復帰
できなかったら、
蓄えている分だけで足りるかな？



そうね…長い間お給料も出ないし
住宅ローン
子どもの学費
生活費
も必要なのに、療養に専念できる
かしら？



本商品の詳細は、
二次元コードより
P.18をご確認ください！
全溶連福祉制度の
パンフレットが閲覧できます。



このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。
また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意しておりますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2024年●月承認) B24-00000

そんなときに!!! 全溶連 GLTD 制度

●全溶連制度での加入メリット!

保険料に団体割引を適用しているため、
割安な保険料でご加入いただけます！
ストレスチェックもサービスとして付帯しています!*

*西日本労働安全衛生法により、労働者数50人以上の事業場において、定時
使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の軽減を把握
するための検査(ストレスチェック)を実施することが労働者の義務となります。

●採用時の自社PRに!

リクルートやCSRの場面でも優良企業のイメ
ージをアピールでき、優秀人材の確保・企業価値
の向上につながります。
業務中・業務外、国内外を問わず、偶発な事
故によるケガや病気等が原因で就業障害となっ
た場合に補償します。

福利厚生のさらなる充実や、
自助努力への第一歩として、
ぜひ企業さまでの導入を
ご検討ください!

●働きやすい職場環境に!

福利厚生制度の充実により安心して働ける職場環
境となることで、従業員のモチベーションが向上し、
定着率UPIにつながります。メンタル疾患による就業
障害も最長2年間補償されます!

●訴訟リスク抑制に!

近年、労災をめぐる訴訟が増加しています。
企業としての安全配慮義務が問われ、労災認
定を受ける事例も多くなります。退職後の経済
的補償により、訴訟リスクの抑制効果があります。



GLTDについてのお問合わせはこちらまで

取扱代理店 株式会社 星ビジネスリンク
TEL 0120-288-270 (平日: 10時~16時) FAX: 03-5439-2380

引受保険会社 【幹 事】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課 TEL 050-3460-8162
【非幹事】 日本生命保険相互会社

— 発行所 —

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル)

Tel. 03-5296-0430 Fax. 03-5577-5062

http://www.zenyoren.com/ e-mail: honbu@zenyoren.com



この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。

全溶連は、限りある地球環
境の保護に積極的に取り
組んでいます。この印刷物
は環境保護印刷推進協議
会(E3PA)の認証を受け、
グリーンプリンティング認
定工場で作成しました。



紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C176864